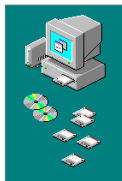


Windows®95 VersionB(OSR2)

でご使用のお客様へ

デバイスドライバ ウィザード



このウィザードで、次のインストールができます。

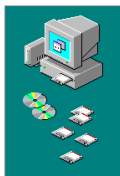
Allied Telesis_KK-Ethernet LAN Card

最新のドライバをローカルドライブ、ネットワークおよびインターネットから検出します。

このデバイスに付属のフロッピー ディスクまたは CD-ROM がある場合は挿入してください。

更新された
へ] をクリック

デバイスドライバ ウィザード



このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。

Allied_Telesis_KK-Ethernet_LAN_Card

このドライバを使用する場合は、[完了] を押してください。別のドライバを検索したい場合は、[場所の指定] を押してください。

ドライバの場所

場所の指定(O)...

< 戻る(B)

完了

キャンセル

付録...Windows NT での追加情報



アライドテレシス株式会社

Windows95 Version B

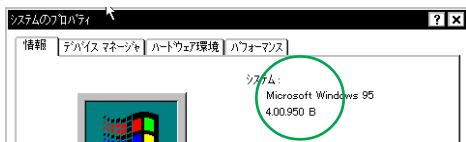
本製品付属の冊子「CentreCOM LA-PCMシリーズ Windows95用ドライバのインストール」は初期のWindows95（Version950またはVersion A）をもとに記述されています。本製品をWindows95 VersionB[†]でご使用になる場合はインストール手順が冊子の記載内容と若干異なりますのでご注意ください。

[†] Windows95 VersionBは"OSR2"（OEM Service Release 2）とも呼ばれています。

Windows95のバージョンを調べる

初めにご使用のWindows95のバージョンを調べます。

Windows95のバージョンは「システムのプロパティ」で確認できます。コントロールパネル システム 情報と進み、"4.00.950 B"の文字がある場合はVersion Bです。



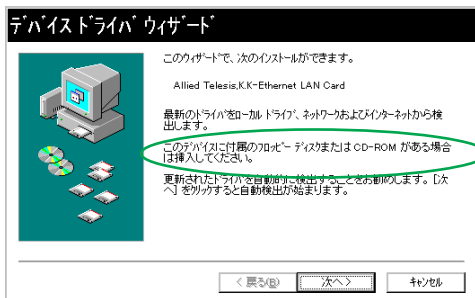
なお、"4.00.950a"の場合はVersionA、"4.00.950"の場合はVersion950です。この場合は冊子「CentreCOM LA-PCMシリーズ Windows95用ドライバのインストール」をそのままご使用下さい。（本冊子は必要ありません。）

Windows95 VersionBでのインストール

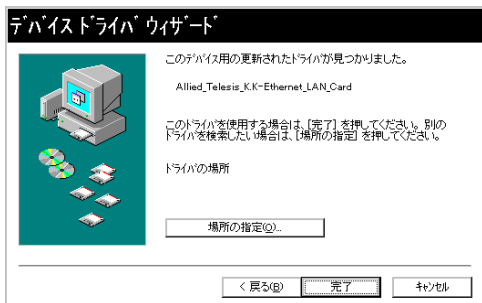
ご使用のWindows95がVersionBである場合は冊子「CentreCOM LA-PCMシリーズ Windows95用ドライバのインストール」のp.7(8)～p.8(12)を以下の内容に置きかえて下さい。

- (1) 本製品をコンピュータのPCカードスロットに取り付けてください。

- (2) Windows95 が本製品を検出し、「デバイスドライバウィザード」が起動します。ドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、「次へ>」をクリックしてください†。



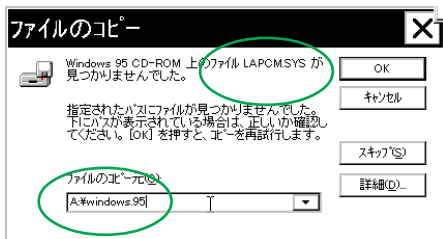
- † ドライバーは Ver.4.2 pl.5 以降のバージョンのものをお使いください。最新ドライバーの入手方法については「リリースノート」の「最新ドライバソフトウェアの入手方法」をご覧ください。
- (3) 続いて下の画面が表示されます。画面の内容を確認の上、「完了」をクリックして下さい。



- (4) ファイルのコピーが開始されます。



- (5) 場合により、途中で下のダイアログが表示されることがあります。ファイル "LAPCM.SYS" は Windows95 の CD-ROM のファイルとして説明されていますが実際にはドライバーディスクの中に収められています。フロッピーディスクドライブにドライバーディスクが入っていることを確認の上、パス"A:\windows.95"または"A:¥"を指定し、「OK」をクリックしてください。(ここではフロッピーディスクのドライブ名を A:と仮定します。)

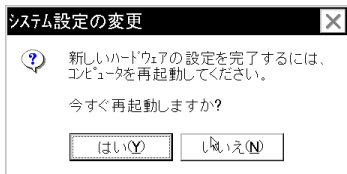


- † 本製品が使用するハードウェアリソースは Windows95 の Plug&Play 機能により、下記の値のうち一つが自動的に割り当てられます。(冊子「Windows95 用ドライバのインストール」p.9 を参照)
I/O ベースアドレス : 200h から 3Fh までの範囲で 20h おきの値
IRQ : 0 から 15 のうち一つ

- (6) ご使用のコンピュータにそれまでネットワークアダプターがインストールされていなかった場合には、コピーが終了した時点で下のダイアログが表示されます。システム管理者に確認の上、コンピュータ名、ワークグループ名、コンピュータの説明(省略可)を入力して下さい。詳細はWindows95のマニュアルおよびオンラインヘルプをご覧ください。



- (7) 下のダイアログが表示されたら「はい」をクリックしてコンピュータを再起動します。



- (8) 引き続き、冊子「CentreCOM LA-PCMシリーズ Windows95用ドライバのインストール」のp.9 (13)にお進みください。

付録 Windows NT での追加情報

1 ハードウェアリソース (Ver.3.5 以上)

本製品をWindows NT (Ver.3.5/3.51/4.0)の環境下でご使用になる場合はハードウェアリソース (I/O アドレス・IRQ)の条件が「LA-PCMシリーズ ユーザーズマニュアル」(NT Ver.3.5/3.51)および「WindowsNT Ver.4.0 NetWare 4.11J MS-DOS クライアント (Ver.1.0 pl.1のみ)」(NT Ver.4.0)に記載されているものと異なりますのでご注意ください。(太字は初期設定値)

1. Windows NT 3.5/3.51/4.0 でご使用の場合 (AT 互換機・PC-98 共通)

I/O アドレス：下記のアドレスの一つを先頭とする連続した 32 bytes を占有
200、220、240、260、280、2A0、2C0、2E0、
300、320、340、360、380、3A0、3C0、3E0

IRQ：下記のうちの一つを占有
3、4、5、7、9、10、11、15

2. その他のOS・ネットワークOSの場合

(「LA-PCMシリーズ ユーザーズマニュアル」付録A A.5項より)

I/O アドレス：下記のアドレスの一つを先頭とする連続した 32 bytes を占有

AT 互換機
200、220、240、260、280、2A0、2C0、2E0、
300、320、340、360、380、3A0、3C0、3E0

PC-98
0D0h、2D0h、4D0h、6D0h

IRQ：下記のうちの一つを占有

AT 互換機
3、4、5、7、9、10、11、15

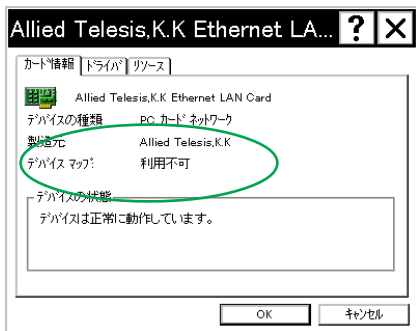
PC-98
3、5、12

(注) Windows95 については本書 p.5 をご覧ください。

2 NT Ver.4.0 でのご注意

本製品を Windows NT Ver.4.0 でご使用になる場合、「PC カード (PCMCIA)」 (Windows NT コントロールパネル) の「カード情報」タブで「デバイスマップ: 利用不可」の表示が出る場合がありますが、これは本製品の仕様によるものでご使用には支障ありませんので安心してご使用下さい。

「カード情報」タブ



本文書に関するご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更、改良することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

(C) 1997 アライドテレシス株式会社

CentreCOMはアライドテレシス株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの登録商標です。

その他この文書に掲載されているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

目次

Windows95 Version B	2
付録 Windows NT での追加情報	6
1 ハードウェアリソース (Ver.3.5 以上)	6
2 NT Ver.4.0 でのご注意	7
本文書に関するご注意	8